



高山市民の森

高山・市民の森は、自然に恵まれ、季節ごとにさまざまな生き物が観察できます。

学習展示施設「森の恵」では、高山の動植物の紹介や林業の仕事、森林のはたらきなど、さまざまな情報を紹介しています。

しょくぶつ

●アケボノソウ



リンドウの中間で、白い花びらに細かな斑点があり、それ夜明けの星空を見立たがことが名前の由来になっています。

●エビネ



ランの中間の多年草で、4～5月に茶褐色から緑褐色の花を多数咲かせます。日本の野生ランでは多く見られる仲間です。

●クサギ



当たりのよい房型などによく見られる仲間で、葉に悪臭があることからこの名前があります。

●シモバシラ



シモバシラの中間の多年草で、8～10月に白い花を咲かせます。枯れた茎に霜柱ができることがわかりています。

●スルガテンナンショウ



サトイモの仲間で、白い花びらに青緑色の花を咲かせます。山地の林内や林縁に生え、4～5月に淡い青緑色の花を咲かせます。

●ナペワリ



森林に生育する多年草で、名前の由来は、「なめり」との変化したものとの言われ、なんと古語では「古方割れ」といふ伝承があります。

●ニガナ



耕作地周りから山野にかけてよく見られる仲間で、5～7月に黄色の花を咲かせます。

●ネジバナ



氣分があり、日当たりのよい草地に生育するランの中間で、春から秋にはじめて咲いて、らせん状の花を咲かせます。

●ヒカゲノカズラ



日当たりの良い場所で、地表を這はうように生長するカクレヒカゲノカズラです。葉の左は、タマハコによる虫吃です。キツネノリーフも同じ仲間です。

●マタタビ



つる性の落葉樹で、晩秋に果実を咲かせます。葉の左は、タマハコによる虫吃です。キツネノリーフも同じ仲間です。

●ホウチャクソウ



コリの仲間で、4～5月に花が咲きます。花は枝先に1～3個ずつ付いて垂れて咲きます。

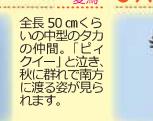
●ヤブウツギ



スカズラの仲間の小さな木で、5～6月に濃い赤色の花を咲けます。ケウバツツツギとも呼ばれます。

とり

●サシバ



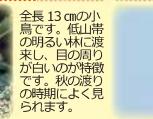
全長50cmくらいです。ミチヤシやハシブト好んで食べます。東北から北道で繁殖し、秋の渡り時に見られます。

●ハチマ



全長50cmくらいです。ミチヤシやハシブト好んで食べます。東北から北道で繁殖し、秋の渡り時に見られます。

●コサメビタキ



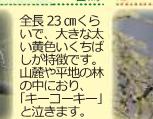
留鳥 全長13cmの小鳥です。低山帯の明るい林に渡り、目立つのが特徴です。秋の渡りの時期によく見られます。

●アマツバメ



全長20cmくらいです。山岸や海岸などに棲む、鎌羽の翼で飛びます。静岡市では秋の途中で見られます。

●イカル



留鳥 全長15cmくらいで、大きい太い黄色いくちばしを特徴です。山地や平地の林の間におり、「チチチチチチ」と泣きます。

●カワラヒワ



留鳥 全長15cmくらいで、黄褐色で、太いくちばしと翼の黒い色が特徴です。山地や平地の林や人家近くで一年中見られます。

むし・かえる

●ヒガシニホントカゲ



山地から低地の陽当たりのよいところに生息し、小さな竹や木などを倒します。幼体は青色、成体は褐色です。

●ニホンアマガエル



体長3～7cmくらいのかげです。単純に寝むづや森林などの地上に暮らし、昆虫や蟹類を食べます。

●ネバタゴガエル



体長4～5cmくらいのアカガエルの仲間で、小さな流せんの崖の中や、水たまりなどで卵を産みます。

●ヤマアカガエル



体長4.2～7.8cm赤茶色をしています。キャララ、キャララと鳴きます。

むし

トンボ

●クロスジギンヤンマ



体長約9cmくらいのトンボで、オスは腹部に青や白い斑紋があります。5～6月頃によく見られます。

●ヤブヤンマ



体長6～9cm

の大型のトンボで、森林に生息します。

●タカネトンボ



体長5～6cmくらいの細身のトンボで、暗い環境を好み、周囲を樹木に囲まれた小規模な池沼等で多くいます。

●オオアオイトンボ



体長4～5cmの鮮やかな金緑色に輝くトンボです。平地や丘陵地の池沼や湿地に生息します。

●ウスバキトンボ



体長5～6cmくらいのトンボです。名前のおおりはねが黄さしく、体は黄色っぽいトンボです。世界で最も広く分布しています。

●オオシオカラトンボ



体長5～6cmくらいのアカントボの仲間です。

オスは黒と黄色の体色です。後翅の根元に二角形の黒斑があります。

●ミヤマアカネ



体長4cmくらいのアカントボの仲間です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。

●リスアカネ



体長4～4.5cmくらいのアカントボの仲間です。

リスアカネの先端にある褐色の斑紋が目立つ中型の赤とんぼです。潮騒の環境を好みます。

むし

チョウ

●ミヤマカラスアゲハ



カラスアゲハをよりメリハリがありとしたきれいなアゲハチョウです。幼虫はカラスサンショウなどを食べます。

●カラスアゲハ



はねを広げると10cmくらいのカラスアゲハの仲間です。成虫は4～8月に3回ほど発生します。

●キアゲハ



ナミアゲハに似ていますが、はねの黄色が濃い黄色が濃い黄色が濃い黄色です。人家でよく見られます。成虫は3～11月に見られます。

●ヤマトシジミ



はねを広げても3cmに満たない小さいシジミです。人家でよく見られます。成虫は3～11月に見られます。

●キタキチョウ



はねを広げると3～4cmくらいの黄色いシジミです。成虫は越冬し、3～11月に見られます。

●モンキチョウ



黄色地のはねに黒色や橙色の紋があるシジミの仲間です。成虫は3～11月に4～5回発生します。

●ジャノメチョウ



中型のチョウで、はねは一側に茶褐色で、前翅の先端に2つ、後翅には1つの眼斑があります。幼虫はイネ科のススキなどを食草します。

●コミスジ



黒地に白い3本のスジがあるシジミです。成虫ははねを立てて、青木林の林縁でみられます。

むし

コウチュウ

●コクワガタ



体長オオで3～5.8cmくらいのクワガタの仲間です。比較的多く見られます。クヌギやナラの雑木林によく見られます。

●ミヤマクワガタ



大型のクワガタムシです。成虫は6～9月に発生します。クヌギやナラなどの樹液を集めています。

●ゴホンダイコクコガネ



体長1.1～1.5cmくらいのゴカゲノムシの仲間です。地域によって金赤、金緑など色が違います。動物の糞を食べます。

●オオセンチコガネ



体長1.3～2.2cmくらいのゴカゲノムシの仲間です。地域によって金赤、金緑など色が違います。動物の糞を食べます。

●ウスバカミキリ



体長3～5.8cmになる大型のカミキリムシです。夜行性で、飛翔力は高く、火力によく飛来します。

●ヨツシジハナカミキリ



体長1.4～2.2cmくらいで、前はねに黒と黄の4本の帶模様がある。花によく集まります。ハチに擬態していると言われます。

●カブトムシ



体長3～5.3cmくらいの大きなオオカブトムシです。オスは大きな角があります。成虫は樹液を食べます。

●ヒメクロオトシブミ

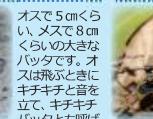


体長0.5cmくらいの小さなオオカブトムシ類です。餌とする植物は幅広く、コナラなどがあります。餌となる木の葉を丸めてぶら下げます。

むし

バッタ・セミ

●ショウリョウバッタ



オオで5cmくらいのバッタです。つまひしと腰の黒い部分で、腹脚の脛部に赤い白線があります。夏から秋にかけて見られます。

●ヒロバネヒナバッタ



体長2.5～3cmのバッタです。つまひしと腰の黒い部分で、腹脚の脛部に赤い白線があります。オオバネヒナバッタと呼ばれています。

●ナキイナゴ



体長2～3cmのバッタで、イエ科の群落で見られます。オスは頭部が広く、後脚を擦り合いで「ジヤ・ジャ・ジャ」と鳴音です。

●クサキリ



体長4～5.5cmです。成虫は8～10月に見られます。オオバネヒナバッタと呼ばれています。

●ヘリグロソユムシ



体長2.4～3.1cmくらいで、背側のオオバネヒナバッタの黒い縦縞模様があります。主に木の葉や林縁に生息します。

●モリオカメオロギ



体長1.2～1.6cmくらいの中型のコオロギです。複眼の間に白い縦縞模様があります。主に木の葉や林縁に生息します。

●ヒグラシ



中型の体長3cmくらいのセミで、テー・ジー・と繰り返し鳴きます。6月下旬から7月頃に発生します。

●ニイゼミ



小型の体長2cmくらいのセミで、テー・ジー・と繰り返し鳴きます。6月下旬から7月頃に発生します。